


生薬解説 142 さー5

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
さー5		甘・温 肝・腎	3~9g、煎服。
中医学生薬解説、参考・使用上の注意 および中医学以外の生薬解説・生薬学解説			
中医生薬解説			
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  <p data-bbox="401 617 642 649">オシヤクジタケの全草</p> </div> <div style="flex: 2;"> <p data-bbox="730 368 1997 439">補腎陽・益精血・養筋 腎虚による腰や膝がだるく無力、四肢に力がない、運動障害などの症候に、熟地黄・牛膝・虎骨などと用いる「虎潜丸」。</p> <p data-bbox="989 439 1829 471">腎陽虚のインポテンツ、勃起不全、遺精などには、桑螵蛸・竜骨などと用いる。</p> <p data-bbox="730 471 1734 504">潤腸通便 腸燥便秘に、単味を濃煎し蜂蜜と膏にして服用するか、麻子仁・当帰などと用いる。</p> </div> </div>			
<p data-bbox="659 655 1871 724">参考 鎖陽は肉苁蓉とほぼ同じ効果を持ち、肉苁蓉の代用になる。 肉苁蓉は温で燥熱でなく、鎖陽はやや温燥であり益精興陽に働く。潤腸の効果は肉苁蓉に及ばない。</p>			
<p data-bbox="659 730 1331 759">使用上の注意 陰虚火旺、脾虚泄瀉、実熱便秘には禁忌である。</p>			